

第四回 茅ヶ崎市地域公共交通会議（8/6） 会議録要旨

（１）コミュニティバス北部循環市立病院線の運行改善について

- ・コミュニティバス北部循環市立病院線の運行改善案について、改善内容、今後のスケジュールを提示した。
- ・目標値の考え方については、コミュニティバスも予約型乗合バスもある程度利用することが前提であるということをはっきりさせて検討する。
- ・予約型乗合バスの帰りの利用について、帰りの路線バスとの接続を考慮できるなど、予約の仕方について可能な限り改善するように検討する。
- ・社会実験を通して、運行改善をしながら、利用者が見込まれれば本格運行とする流れについて提示し、会議として了承を得た。

（２）コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行改善について

- ・コミュニティバス東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）の運行改善後の実態調査結果について報告を行った。
- ・運行本数が半減し最終便が 16 時台となったため、辻堂駅からの利用パターンが見られないのではないかと。1 時間に 1 本の運行にできないか。
- ・運行本数と運行時間帯について、どのような調整ができるかを考えてみてはどうか。
- ・辻堂駅西口バス停の駅側への移設後に利用実態調査を実施した上で、今後の対応について検討する。
- ・体験してもらうことが大事であり、1 回だけ乗れる利用券を配布し体験してもらうなどの工夫により、市民から意見を頂くことも考えられる。

（３）茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について

- ・茅ヶ崎駅北口周辺地区での交通環境の改善について、今後の取り組み内容を示した。
- ・茅ヶ崎駅前はかなり交通混雑が生じており、バスは出来る限り国道 1 号を走行せずに北部方面へ向かうようにした方が良い。
- ・自転車走行空間の確保には、道路空間が一定の中で他の何かの空間を減らさなければいけないことであり、道路ごとにどのような交通を受け持つのかを役割分担するような考え方が必要である。
- ・バスを補完する交通としてタクシーがあるが、時間帯によっては駅前広場の待機場から溢れて交通渋滞等を引き起こしている場合もあり、タクシーも検討が必要である。

（４）その他について

- ・コミュニティバスの利用状況について、報告を行った。

- ・ 中海岸、南湖の市立病院循環線の下半期が減少しているのは、徳洲会病院の移転とこれに伴う無料バスの運行が要因と考えられ、今後利用状況を見ながら確認を行う。